

平成27年度全国学力・学習状況調査における調査活用委員会の報告

本年度は、昨年度に続き悉皆調査が行われ、新城市では、小学校16校（小学校6年生対象）、中学校6校（中学校3年生対象）が調査を実施しました。

そこで、昨年度の調査結果と本年度の調査結果とを比較し、調査活用委員会で分析・検証を行いました。

平成26年度と平成27年度の学力・学習状況調査の結果を比較し、今後の学習指導の取り組みについて、新城教育として次のような授業改善を行っていききたいと思います。

国語

「国語の授業を核として、すべての教育活動の中で国語力を培う」という職員間の共通認識をもつ。

《国語の授業》

- 授業の中で5分間程度の帯学習を組み込み、漢字ドリルや文法学習を行うなど、年間を通して継続的な取り組みで基礎基本の定着を図る。
- 教師自身が慣用的表現や国語の用語（文法用語、読解用語など）を意図的に使い、子供たちが授業で使うような場面を設ける。
- 文章中の語句や表現、段落と場面相互の関係に着目して文章を読む機会を増やす。
- 他学年とのつながりを考え、系統性を意識した学習を行う。

《学校生活》

- 日記指導やノート指導を通して、ていねいに正しく書こうとする姿勢や目的や条件に応じて書く力を養う。
- 他教科との連携を図り、国語で学習した話し方や聞き方、書き方を実践したり活用したりすることで有用感を味わわせる。
- 担任が共に読書し、子どもの実態に即した作品を紹介することで、「続きを読みたい」と思える本に出合わせる。

《家庭学習》

- 家庭での生活を見直す（インターネット、ゲーム等のメディア利用時間の減少や就寝・起床時刻の適正化など）機会を設け、学習や読書（新聞を読むことも含む）の時間を確保するよう促す。
- 授業とリンクした「家庭学習」「自主学習」の内容や方法を提示する。

算数・数学

算数的活動や数学的活動を生かした指導を一層充実させる。

《基礎・基本の定着》

- 概念・用語・定義を確実に理解させた上で、基本的な技能を繰り返し習得させる。
- 日常の事象と結びつけた学習活動を通して、数・量・図形についての感覚を豊かにする。

《活用する力の向上》

- 読み取る活動や根拠をもとに説明する活動を通して、思考力・表現力を養う。
- 法則を発見させる活動等を通して、算数・数学のよさを実感させる。

《学習意欲の喚起》

- ティームティーチングや課題学習など、個に応じた学習形態や学習課題を設定する。

理 科

実験や観察を重視し、体験に基づいた学習活動を展開する。

《基礎基本の定着》

○重要語句や実験器具の基本操作を繰り返し学習する。

○結果や考察などを、ノートに自分の言葉で書く活動を多く取り入れる。

《活用する力の向上》

○日常の自然現象と関連づけながら学習を進める。

○自分の予想をもとにして実験や観察をおこない、問題を解決していく学習を取り入れる。

《学習意欲の喚起》

○興味や関心を持たせるような実験や観察を積極的に取り入れる。

○ICT、視聴覚教材、PC等の教育機器を有効に活用する。

＜資料＞平成27年度小学校6年生と中学校3年生の結果からの状況

(1) 平成27年度全国学力・学習状況調査結果概況

	平均正答率 (%)			
	小学校6年生		中学校3年生	
国語A (主として知識)	全 国 新城市	70.0 下回る	全 国 新城市	75.8 同程度
国語B (主として活用)	全 国 新城市	65.4 下回る	全 国 新城市	65.8 同程度
算数・数学A (主として知識)	全 国 新城市	75.2 やや下回る	全 国 新城市	64.4 同程度
算数・数学 (主として活用)	全 国 新城市	45.0 やや下回る	全 国 新城市	41.6 同程度
理 科	全 国 新城市	60.8 やや下回る	全 国 新城市	53.0 同程度

(2) 平成27年度学習状況調査の傾向

児童・生徒への質問	児童の回答の状況	生徒の回答の状況
今住んでいる地域の行事に参加していますか	全国と比べて、児童・生徒ともに、参加している割合がかなり上回る。	
自分にはよいところがあると思いますか	「思う」「どちらかといえば思う」と答えた児童・生徒の割合が全国と比べてやや下回る。ただし、児童に比べ、生徒の方は全国との差は小さい。	
朝食を毎日食べていますか	「食べている」「ほぼ食べている」と答えた児童・生徒が全体のほとんどを占めている。	
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	「起きている」「ほぼ起きている」と答えた児童・生徒が全体のほとんどを占めている。	
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	「寝ている」「ほぼ寝ている」と答えた児童・生徒の割合は、全国と比べるとほぼ同程度。しかし、同じくらいの時刻に起きている割合に比べると、かなり少ない。	

学校の授業の予習・復習をしていますか	全国と比べ、児童・生徒ともに家庭での予習・復習の時間がかなり少ない。ただし、児童に比べ、生徒の方は全国との差はやや小さい。
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	全国と比べ、児童・生徒ともに「立てている」「ほぼ立てている」と答えた割合は少ない。ただし、児童に比べ、生徒の方は全国との差は小さい。

これまでの全国学力・学習状況（質問紙）調査の結果同様、新城の三宝を活用して、自然や地域とのふれあいを多くもち、地域の行事などにも積極的に参加する児童生徒の姿が「共育」の成果として表れています。一方、家庭学習にかける時間が少ないことは継続的な課題として残されています。また、自己肯定感がもてない児童生徒がやや多いことが課題と考えられます。新城の児童生徒のよい面を伸ばしながら、さらに学力の向上を図りたいと考えています。